

環境問題シリーズ 第39章

【カーボンゼロシティを目指す所沢市】

出前講座を聴講して

地球環境に学ぶサークル 芝間 伸剛

去る2月27日(火)に「ゼロカーボンシティ実現に向けた地球温暖化対策の取組み」というテーマで、「地球環境に学ぶサークル」の主催で、出前講座を開催しました。

講師には所沢市マチごとエコタウン推進課の大舘徹主査をお願いしました。

今回の出前講座開催の目的として、所沢市が2050年のゼロカーボンシティ宣言を2020年に行いましたが、それから3年余りが過ぎ、その目標に対してこれからのロードマップ(行程表)をどのように描いているのか、そして私たち所沢市民一人一人が具体的にどのような行動を取ったらいいいのかについて説明していただきたいと事前に申し入れしてありました。

ところが、環境基本計画(後期)が3月に発表されるということで、お願いしたニーズに十分にお答えいただけなかったのは、ちょっと残念でした。

1. 所沢市の進めるCO₂削減の現況

所沢市CO₂削減目標は、2013年155.2万t-CO₂に対し、2030年には目標値を76.0万t-CO₂、そして2022年の実績では113.0万t-CO₂(73%削減)となっていると言います。

2. 所沢市の取組み

所沢市は、CO₂削減のために以下に示す項目の取組みを推進しています。

- ①省エネの推進 (エネルギーの効率的な利用を考え、限りあるエネルギー・資源を大切に使用)
- ②再エネの推進 (持続可能なエネルギーを選択し、地域で作られたエネルギーを積極的に使用)
- ③みどりの保全・創出 (自然の恵みを活かし、豊かな緑を育み、共に生きる)
- ④共働・学習・行動変容 (市民・事業者・行政みんながゼロカーボンシティに向けて学習・実践)

3. 私たちが取り組むこと

すでに実践されている方も多いこととは思いますが、所沢市が推奨する対策が下表になります。

1	風呂は、冷めないうちに続けてはいる (1年で6,052円節約)	233g
2	出かけるときは、自動車を使わず、徒歩・自転車・公共交通を使う (1年で2,377円節約)	193g
3	冷蔵庫の温度は、季節により切り替える、ドアの開閉時間を短く、詰め込みすぎない	130g
4	室温28℃目安に冷房を適切に使用する (ひと夏で801円節約)	100g
5	水やお湯は流しっぱなしにせず、こまめに止める(1年で3,031円節約)	82g
6	使用しない家電製品は、または主電源を切る コンセントからプラグを抜く (1年で1,483円節約)	69g
7	炊飯器の保温機能は使わない (1年で1,116円節約)	52g
8	エアコンのフィルターをこまめに掃除する (1年で846円節約)	39g
9	トイレの便座は、冬は温度を低めにし、それ以外のシーズンは電源を切る	32g
10	使用しない部屋の照明は、こまめに消す (1年で406円節約)	19g

出前講座資料より抜粋

*1 数値(g)は1日のCO₂削減効果を示す

*2 節約金額は、計算根拠が不明のため

目安としてとらえてください

4. その他の私たちができること

一般的な話となりますが、私たちにできるCO₂削減対策として、ソーラーパネル・蓄電池の導入、高断熱サッシの導入、LED照明や電気自動車等への切り替え、ごみの減量化・分別・資源回収などがあります。

特にお勧めは、断熱効果を高めるための窓のリフォームです。国や所沢市からの補助金制度があり、金銭的な負担が少なく、断熱効果の向上により冷暖房維持費が低減できるメリットがあります。

ただしその効果の程度は、部屋の構造や窓の大きさ・数などで違いがあるので一概には評価できません。専門家(施工会社等)に相談してみるとよいと思います。